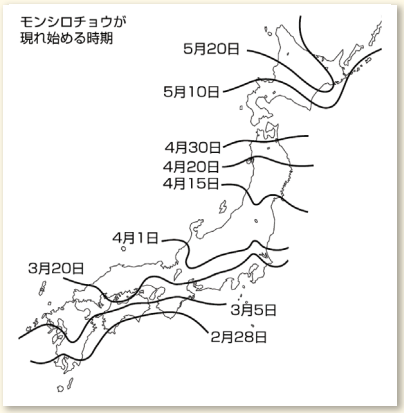
チョウの飼育

チョウの飼育



学校敷地内でモンシロチョウの卵や幼虫を入手するには，事前に食草を準備しておくことが不可欠です。ホームセンターにキャベツの苗が並ぶ頃，20〜30株購入して，花壇かプランターに植えておくとよいでしょう。そうすると，春になるとどこからともなくモンシロチョウがやってきて産卵します。なお，地域によっては野鳥などによる食害があるので，キャベツの葉が食い尽くされないように，防鳥ネットを張るなどの対策が必要です。

モンシロチョウがキャベツの葉に止まっているのを見かけたら，チョウが飛び立った後，その葉を見てみましょう。多くの場合，卵が確認できます（色はだいだい色ではなく白っぽい）。見つけたら，卵がついている周囲を約3cm角程度にハサミで切り取ると，扱いやすくなります。葉はそのまま放置しておくと干からびるので，100円ショップなどで販売している透明なプラスチックケースに，湿らせたティッシュペーパー等を敷き，その上に置きましょう。換気のために，ふたに穴を開けて通気性を保ちます。直射日光が当たるところは避け，日光が直接当たらないあたたかい場所に置くようにしましょう。



トラブルシューティング 飼育のポイント

●卵が葉からとれてしまったとき

キャベツの葉の上に戻しておけば，ふ化します。

●幼虫の体が黒くなり，周りに黄色いものがたくさん見えるとき


アオムシコマユバチ（体長約3mm）

チョウの天敵である，アオムシコマユバチのまゆです。このハチは，モンシロチョウの幼虫の体内に卵を産みつけます。体内で卵からかえったハチの幼虫は，チョウの幼虫の体内で体液や脂肪を食べて大きくなり，チョウの体を食い破って体外に出てまゆをつくります。その結果，チョウは死んでしまいます。ハチの寄生を防ぐために，チョウはなるべく卵から飼育するようにしましょう。

●近隣にキャベツなどの葉物野菜農家がある場合

モンシロチョウは，農家にとっては害虫になることもあり，その食害に悩まされている場合があります。近隣に農家がある場合は，学校での飼育には配慮が必要になることがあります。

さらにくわしくお知りになりたい場合

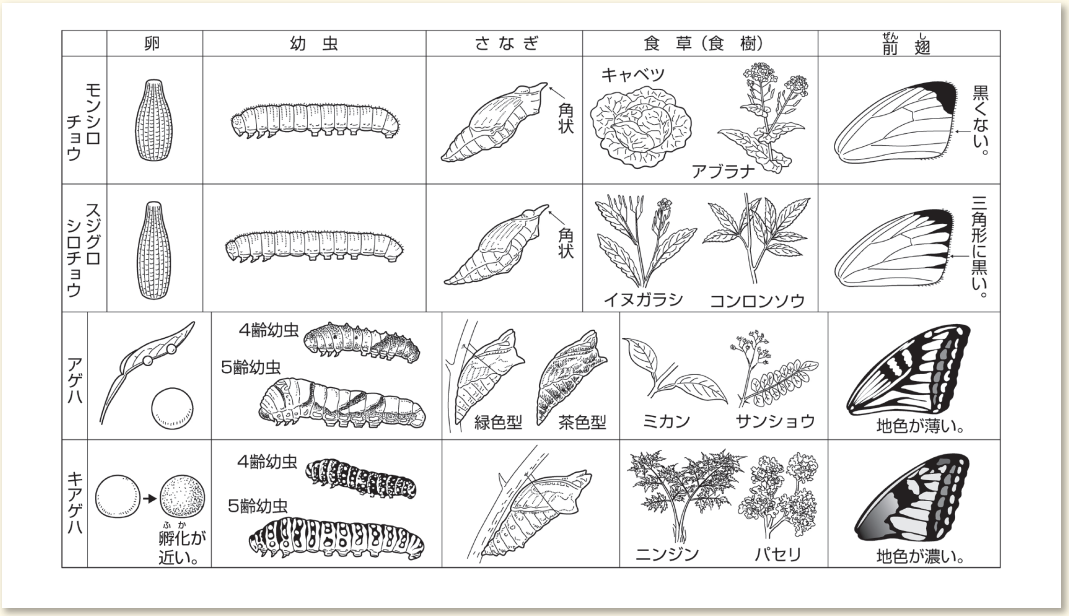
教授用資料

啓林館教師用指導書3年 研究編 p49，50，54，55

3 チョウを育てよう

観察しやすい昆虫の種類

チョウの種類と特徴

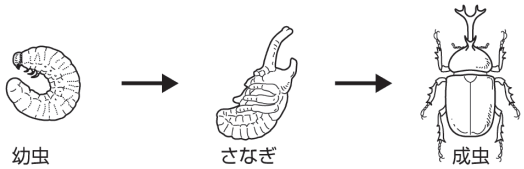


観察しやすい昆虫

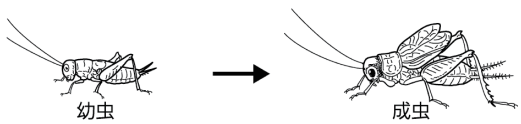
●ナナホシテントウ
都市部でも，公園の植え込みや少しでも緑地帯のあるところならよく見られます。幼虫も成虫もアブラムシを食べますが，成虫の飼育は簡単で，砂糖水だけでも長期間飼育が可能です。



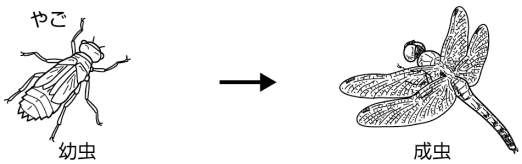
●カブトムシ
成虫のめす・おすのつがいを，腐葉土の入ったプラスチック容器で飼育すると，夏の終わりにその腐葉土の底のほうにめすが産卵します。幼虫・成虫ともに飼育は簡単です。



●エンマコオロギ
秋の終わりに，めすは産卵管を土に差して卵を産みます。野菜くずやカツオブシなどをえさにすればよく，飼育は簡単です。



●シオカラトンボ
秋ごろ，学校のプールにも産卵しに来るので，清掃前のプールでやごを捕まえることもできます。清掃前のプールや排水溝など，泥と水がたまっているところからあかむしを捕まえてきて与えるとよいでしょう。



さらにくわしくお知りになりたい場合

啓林館教師用指導書 3年 研究編 p54，59

教授用資料